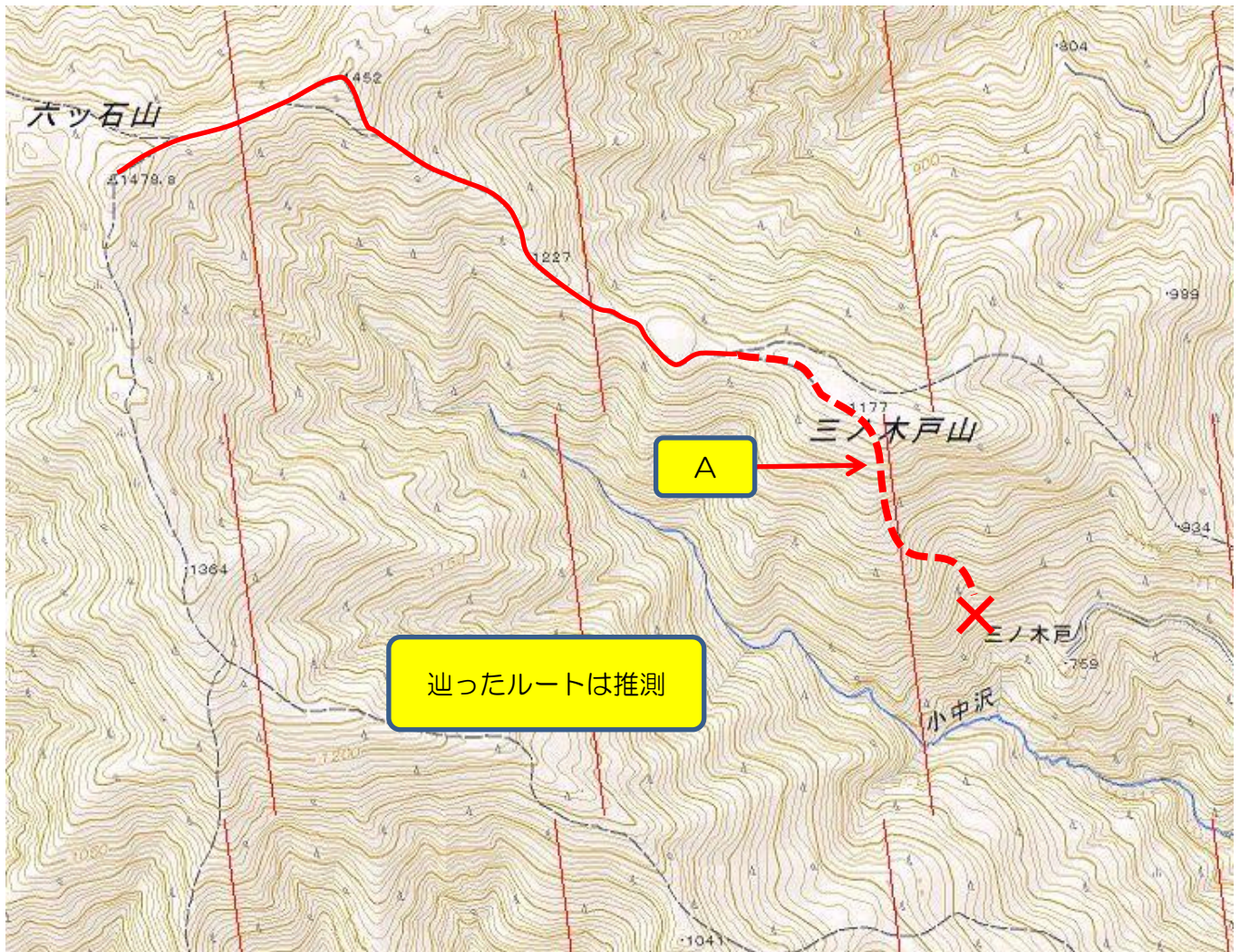


## 六ツ石山遭難(2019年12月)

登山道からわさび田への作業道に誤って踏み込む。作業道から約150m転落した男性を発見したが、既に亡くなっていた。



## 解説

里山には、様々な作業道がある。登山道とは違い、途中で道が不明瞭になることもある。下山の場合、道がなくなっても「何とかなる！」と願望を抱き、下り続ける。これが、道迷いの不思議である。道がなく、急な斜面で足を滑らせ、滑落に至ってしまった。

下りで大切なことは、予測である。正しく予測をしていれば、「A」の場所で、「こんな急な下りは、コース上には存在しないのでおかしい。」と思うはずである。「あれっ！おかしい。」と思ことがある。

この時の判断が正しければ……。誰もが、思うことである。